

建交労かながわ

発行 建交労神奈川県本部機関紙部
〒 231-0025
横浜市中区松陰町2-7-17
リバーハイツ石川町304
☎ 045-662-2340
FAX 045-641-5453
Email ctg-kana@jasmine.ocn.ne.jp

2020年春闘中央討論集会

伊豆長岡・ホテルサンバレー富士見

11月23日(土)～24(日)と、東京法律事務所の岸に伊豆長岡のホテル・サンバレー富士見において建交労2020年春闘中央討論集会が85名の参加で開催されました。

春闘アンケートの取り組みで

安倍悪政にストップを!

主催者挨拶をおこなつた角田委員長は「アメリカから戦闘機を爆買いし大企業・富裕層に富を集中させる一方で消費税増税、社会保障制度の改革を続ける安倍政権を厳しく批判し、安倍政権を追及するためにも春闘アンケートの強化などについて強調しました。

職場からあらゆるハラスメントの根絶を!

廣瀬書記長が春闘方針(第1次案)を提起したあ



建交労

全国トラック部会第21回定期総会に県南支部から2名が参加

会に県南支部から2名が参加

中央討論集会が開催された同じ会場で11月24日(日)～25日(月)に38名が参加して開催されました。

総会は松澤副部会長が開会挨拶、谷藤議長(副部会長)が進行しました。主催者挨拶では足立部会長が開会挨拶、谷藤議長(副部会長)が進行しました。主催者挨拶では足立部会長がトラック業年度のまとめと2020年度役員選出、総会宣言が採択され足立部会長の大島信雄・支部書記(大島信雄・支部書記)が発言しました。

ト活動で対話を心がけていること」などを発言しました。集会2日目は前日に行われた分散会討論の報告と全体討論が行われ15名から活発な発言があり、廣瀬書記長のまとめの後、角田委員長の団結がんばろうで集会を終了しました。

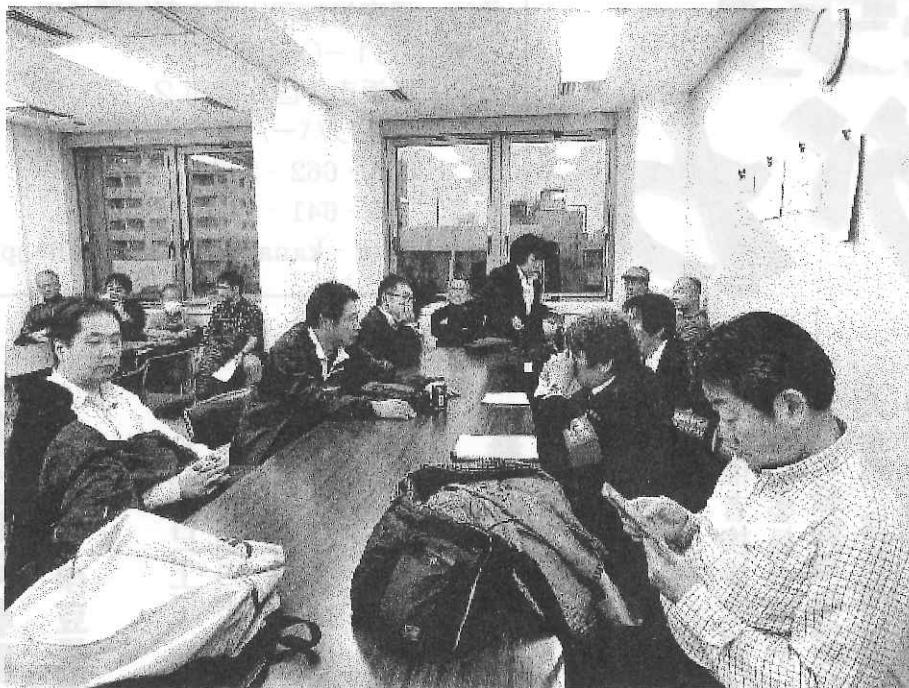
(大島信雄・支部書記長)



委員長は三昭運輸分会の発言でも人手不足・世代交代・組織建設などが共通課題となっていることが明らかにされました。

特別発言を含む18名の発言で活動報告と組織建設などの課題を発言しました。

県本部旗びらき
2020年1月12日
かながわ
労働プラザ9F
16時から



初の証人審問で証言！

11.28 県労委
27名の参加者で
本事件最初の
審問に

審問は組合側の清野分会長と北川書記長の主審問のみの変則的な形で行われ会社側の出席者は代理人1名だけというなかで、組合側代理人の小池弁護士は今後の進行で組合側の不利益にならないよう配慮することを県労委に確認してから審問に入りました。

最初の審問は
北川書記長が
誠実明確に

北川分会書記長からはじった証人審問は、竹内社労士が介入する竹内社労士が介入する以前の労使関係をはじめ、建交労への対策として会社が介入して企業内組合（第二組合）をつくらせたことを認めた会社幹部の発言と、その不透明な企業内組合の実態、北川書記長が三浦部長との関りで会社から受けた不当な処分の事実経過、組合事務所が貸与された経緯と会社側からの唐突の事務所明け渡しの申入れに関するやりと

り、また企業内組合の組合事務所に関する過去の経緯と現状などについて、はつきりと丁寧にして誠実に証言していくました。

正常な団体交渉の確立を

小池弁護士から「労働委員会に聴いて欲しいこと

と、言つておきたいことは何か」と最後に問われた北川書記長は、「労働委員会には、竹内社労士が会社側の交渉員と名乗つて団体交渉に入つてきてからは、それまで行われていた正常な団体交渉が一切できなくなってしまったことを理解して頂いて公正な判断をお願いしました。

二人目
清野分会長も
確信に満ちた態度で

小池弁護士の質問とてはっきりと丁寧にして誠実に証言していくました。以前と以後の変化として、はつきりと丁寧にして誠実に証言していくました。

小池弁護士の質問と
中心は、竹内社労士が団
体交渉に入る「以前」と
「以後」の変化についてで

小池弁護士の質問とてはっきりと丁寧にして誠実に証言していくました。

かれでも自分たちの正当性を話すだけです。
今後も皆さんの支援を力に県労委だけではなく、様々な運動を開展して会社を社会的に包囲し最後まで心折れる事なく、たたかいます。」と力強く決意を表明しました。

メイショクアソシエイツ分会紹介

昨年末に同僚が突然入院し、その穴埋め業務の残業代を請求するため、またその他待遇改善を求めるために約半年前に分会を発足しました。ちょうど事業継承時期と重なり、残業代未払い自体は認めるものの、その責任を退職した元代表取締役に被せようと解決金支払いを拒み労働審判へと進展する予定です。現在団交4回実施、組合員7名。賞与大幅減額と新たな問題も発生していますが、待遇改善に向けて粘り強く交渉していきたいと思います。

南須原 圭さん

